

半世紀の節目を祝い

記念式典と祝賀会を開催



11月4日、レ・コード館で創立50周年を迎えた東町自治会の記念式典と祝賀会が開かれました。

記念式典は、氏家自治会長が式辞を述べ、自治会創立時から事務局長として関わり、42年間自治会長を務めた寺田孝男さんに功労表彰が贈られました。式典後には祝賀会が開催され、判官太鼓の演奏と演歌歌手「こおり健太さん」の歌謡ショーで盛り上がりました。

名医による講演

知って納得心臓の話

11月11日、レ・コード館で町民公開講座が開かれ、札幌市の北海道循環器病院の津久井宏行理事長による「心臓のしくみと最新の治療法」と題した講演が行われました。

講演では、実際に心臓の手術を行っている映像を見せ「適切なタイミングで手術をすれば、健康的な生活が送れる」「最新医療では胸を開かない治療法もあり、手術をあきらめていた方が、治療を受けて治すこともできるようになった」などと話されました。

この日は、同病院の管理栄養士による講演や健康チェックコーナー、射的などのゲームコーナーも設置され、多くの人で賑わいました。

北海道の名付け親

松浦武四郎と新冠



11月18日、レ・コード館シアターで北海道150年にちなみ、北海道の名付け親である幕末の探検家「松浦武四郎」と新冠のかかわりについての講演会が行われました。

北海道博物館の三浦泰之学芸主幹をお招きし、武四郎の人物像、蝦夷地探検、3度来訪したという新冠での踏査、北海道命名の経緯などを説明いただき、参加者は真剣なまなざしで聞き入っていました。



本町地区ふれあい交流

『もちつき大会』

11月18日、サポーターセンターえましあで『もちつき大会』が行われ、子どもから高齢者まで約50名が参加しました。

この大会は、本町地区の世代間交流を目的に毎年行われているもので、今年も字大富の小山田農園からもち米を寄贈いただき、実施されました。

子どもたちは、楽しくもちつきをした後、きな粉やキムチなどを付け、おいしいお餅をお腹いっぱいになるまで食べていました。

おひるねアート知っていますか？

ユニークな写真撮影にチャレンジ



11月7日、町民センタープレイルームで、0歳児から3歳児のお子さんとその保護者を対象とした『おひるねアート』が行われました。

おひるねアートとは、赤ちゃんや子どもに背景や小物を付けて撮影するアート写真で、この日は、名寄市在住の認定講師である「大坂響さん」をお招きし、おひるねアートの楽しさを学んだ後、実際に子どもをモデルに写真撮影を行いました。

子どもたちの健全育成のために

学び・遊ぶ・つうがく合宿



11月11日から15日までの5日間、判官館青年の家で小学4・5年生を対象とした『つうがく合宿』が行われました。

この合宿は、子どもたちの問題行動の要因の一つとして、生活習慣の乱れがあげられるため、地域の教育力を活用し、規律ある生活を体験し、健全育成を図ることを目的に実施されています。

その1

ま ち の 話 題

あれこれ

美しい歌声

合唱団V O 1 20周年

11月27日、レ・コード館町民ホールで、『合唱団V O 1 結成20周年コンサート』が開かれました。

合唱団V O 1は、平成9年にレ・コード館のこけら落としで「飛翔」を合唱したメンバーが集まり、結成された合唱団です。

結成20年目となるこのコンサートは、「もう一度歌いたい思い出の曲」をテーマに、3部構成で行われ、コンサートの最後には、結成のきっかけとなった、「交響詩 新冠その輝ける未来 飛翔」を合唱団有志の男性も加わり、美しいハーモニートと透き通った歌声が会場に響いていました。



開かれた行政の推進のため

今年も町政懇談会を開催

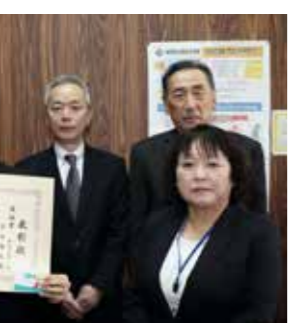


11月19日から30日までの5日間、町内12会場場で「町民と行政の協働のまちづくり」を進めるため、町政懇談会が開かれ、122名が各会場に訪れました。

懇談会では、「国保診療所の有床化と健康増進」などが取り組んでいる主な政策を説明し、その後、参加された方々より、各施設の整備や今後の防災対策など、たくさん意見・要望が出されました。

人権尊重の大切さを作文で表現

見事、奨励賞を受賞!!



11月28日、新冠中学校で、『第38回全国中学生人権作文コンテスト日高地区大会』において、奨励賞を受賞した新冠中学校3年生の宮本陽太さんへ、札幌法務局日高支局長より表彰状の伝達が行われました。

このコンテストは、人権尊重の大切さや、基本的な人権の理解を深めることを目的に実施されており、中学校では毎年3年生が参加しています。

熱演に大きな拍手鳴り響く

レ・ニおゆうぎ会



11月17日、レ・コード館で認定子ども園ド・レ・ミのおゆうぎ会が開かれました。

このおゆうぎ会は、3歳児から5歳児を対象に、器楽・歌・遊戯などで構成された18のプログラムで実施されました。今年最後となる5歳児の演劇「ちからたろう」では、大勢の父母が見守る中、練習の成果を舞台いっぱい披露し、大きな拍手と歓声が沸き起こりました。